

研修名	継続教育研修	
開催日時	プログラム参照	
研修形態	集合	
受講者数	延べ人数231名(会員172名、非会員59名) (内 訳 保健師0名、助産師0名、看護師228名、准看護師3名)	
対象	保健師・助産師・看護師・准看護師	
教育目的	1) 看護専門職として高い倫理観に基づき、看護実践能力の向上をはかる。 2) 看護専門職としてのキャリア発達を促進し、変化する社会や地域のニーズに対応できる能力を養う。 3) 他職種と連携・協働し看護職の役割を発展させる能力を養う。	
講師・内容	プログラム参照	講義・演習

1.プログラム

	日程	研修名	講師	研修形態	レベル	目的	ねらい	定員	参加者数
1	6/26(水) 10:00～16:00	看護に活かす臨床推論～指導・報告に使える！臨床推論による思考過程の言語化を学ぶ～	高知医療センター 救急看護認定看護師 大塚康之	集合	Ⅱ～Ⅲ	臨床推論の思考プロセスを言語化できる能力を高める	・臨床推論について理解する。 ・思考過程を言語化し表現できる	40	24
2	7/23(火) 13:30～16:30	現場に活かす褥瘡ケア～最新知識に基づいたケアの実践～	高知医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師 本山 舞	集合	Ⅱ～Ⅲ	最新の褥瘡ケアの知識・技術を習得する	・新しい知見での褥瘡のアセスメント・ケアを学ぶ	40	59
3	7/26(金) 10:00～16:00	これからのリーダーシップと欠かせないフォローシップ～協働と共有のチームづくりを目指して～	石川記念会HITO病院 副院長・看護部長 田淵 典子	集合	Ⅱ～Ⅲ	組織においてリーダーシップやフォローシップを発揮し、質の高い協働ができる	・リーダーシップやフォローシップについて理解する ・所属チームにおいてリーダーシップやフォローシップを実践できるようになる	40	38
4	8/27(火) 9:30～12:30	会議カンファレンスでの発信力を高める研修	高知県立大学 看護学部 助教 池内 香	集合	Ⅱ～Ⅲ	相手にわかりやすく伝える方法を学び、会議カンファレンスを活性化できる方法を理解する	・自分の考えをまとめ、伝える方法が理解できる ・プレゼンテーションのスキルを活かすことができる	30	18
5	9/3(火) 9:30～12:30	せん妄の理解と看護ケア～ここが知りたいせん妄ケア～	高知大学医学部附属病院 精神看護専門看護師 小笠原麻紀	集合	Ⅱ～Ⅲ	せん妄の病態を理解し、予防・ケアに役立てる	・せん妄の病態を理解する。 ・せん妄予防・ケアに活用できる。	40	41
6	11/14(木) 9:30～12:30	臨床倫理の4分割法による事例検討～臨床のモヤモヤの解決と患者にとっての最善とはなにかを考える～	高知県立大学 看護学部 特任講師 豊田邦江	集合	Ⅱ～Ⅲ	臨床現場で直面する倫理的課題を臨床倫理4分割法を使って分析し、解決に向けた最善策を考える	・臨床倫理とはなにかを理解する ・臨床倫理4分割法を使って現象を理解し最善策を考える事が出来る ・臨床でのモヤモヤ感の解決に役立てる	40	16
7	11/19(火) 10:00～16:00	リーダー看護師のコミュニケーション術 コーチングと指導の融合	AEメディカル 野津 浩嗣	集合	Ⅱ～Ⅲ	リーダー看護師に求められるコーチングスキルを習得する	相手の強みや持ち味を引き出すコミュニケーションスキルを演習を通して学ぶ	40	35

2.アンケート結果

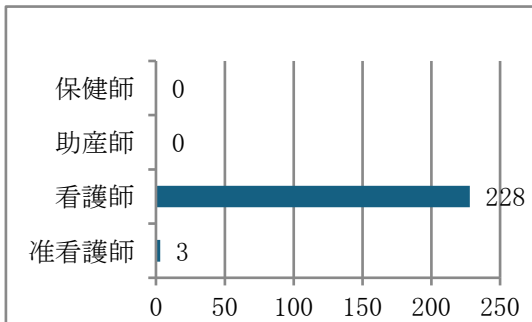
※アンケートはGoogleフォームを使用したオンライン上の質問と回答

1)7研修まとめ

出席者計:231名 アンケート回192収名 アンケート率83.1%

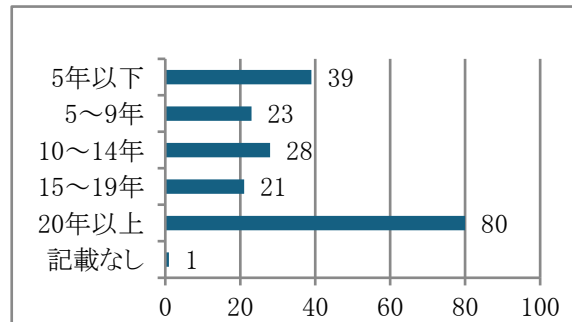
(1)職種

n=192



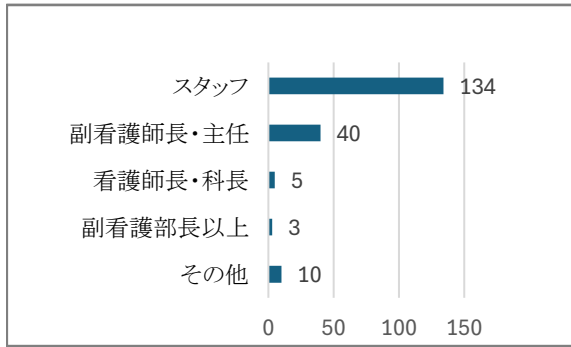
(2)経験年数

n=192



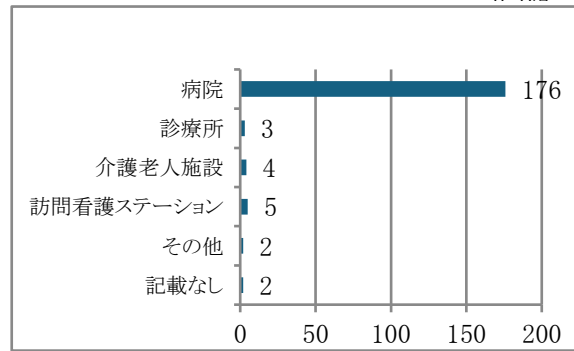
(3)職位

n=192



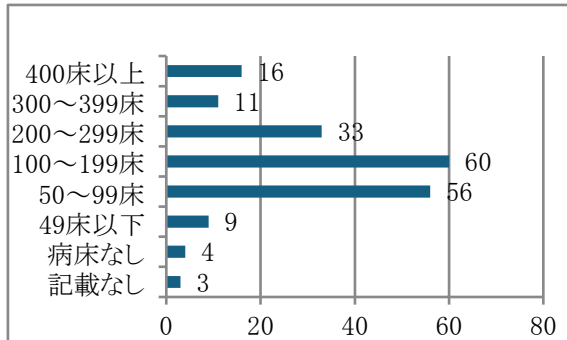
(4)所属施設

n=192

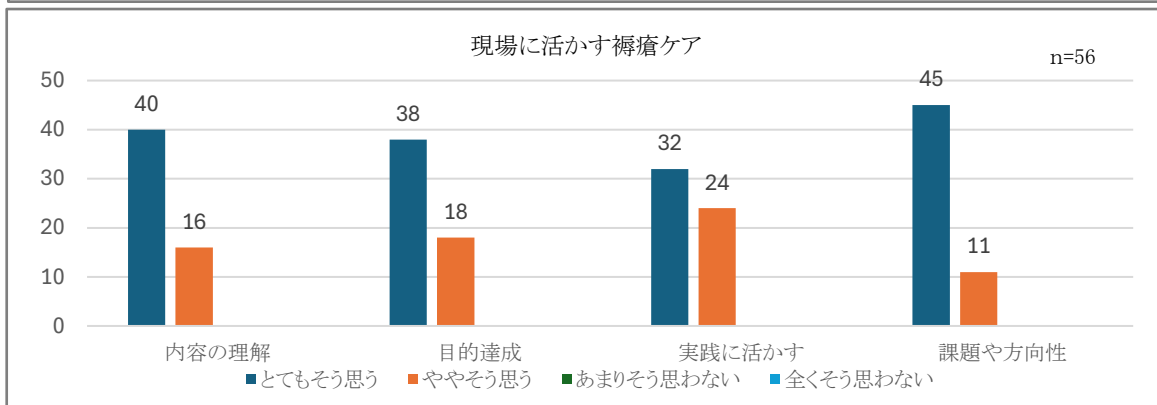
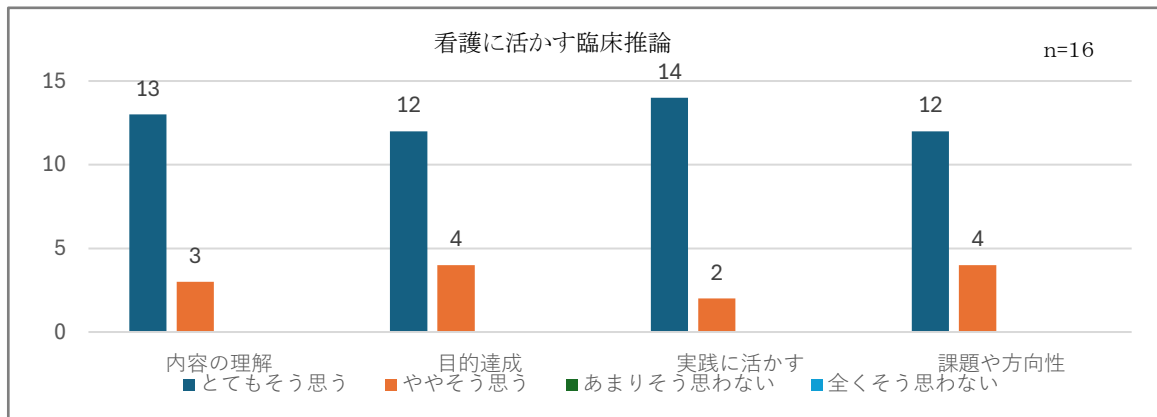


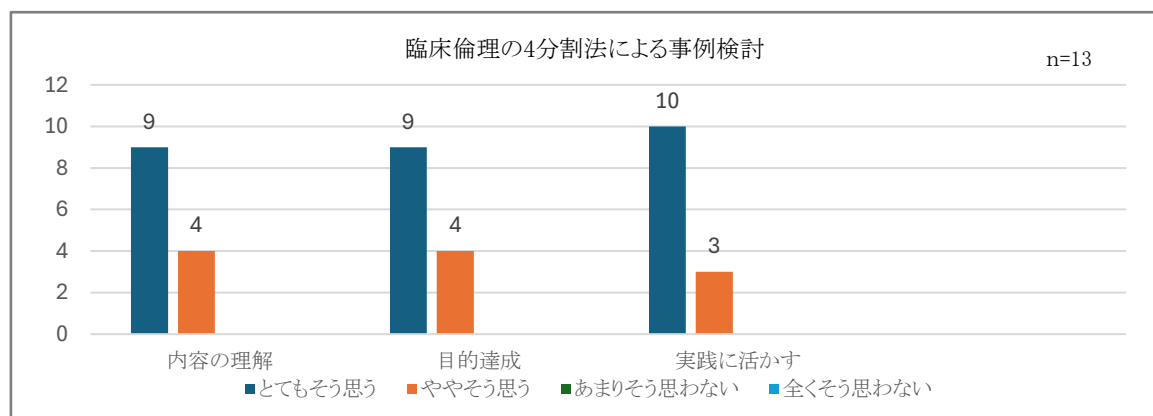
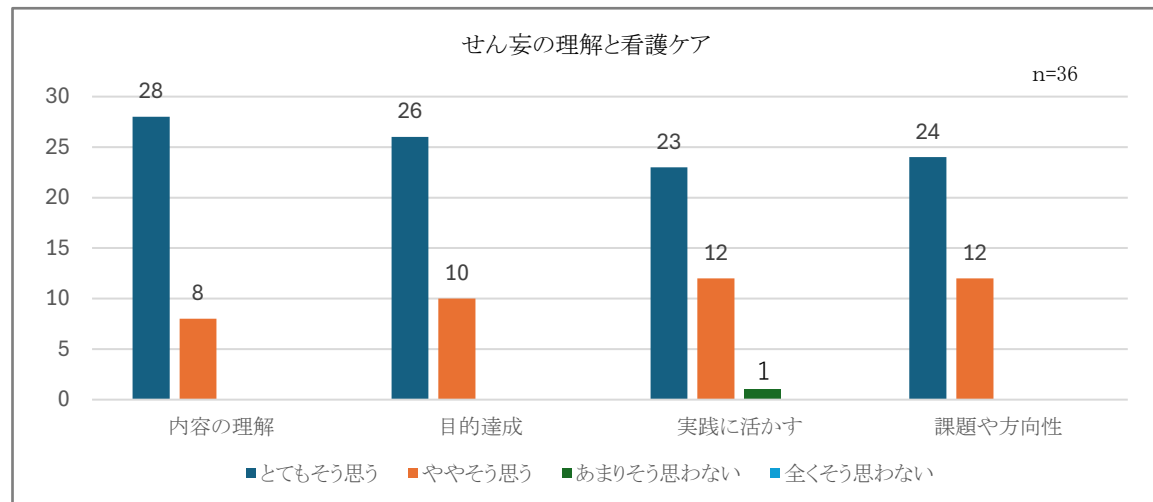
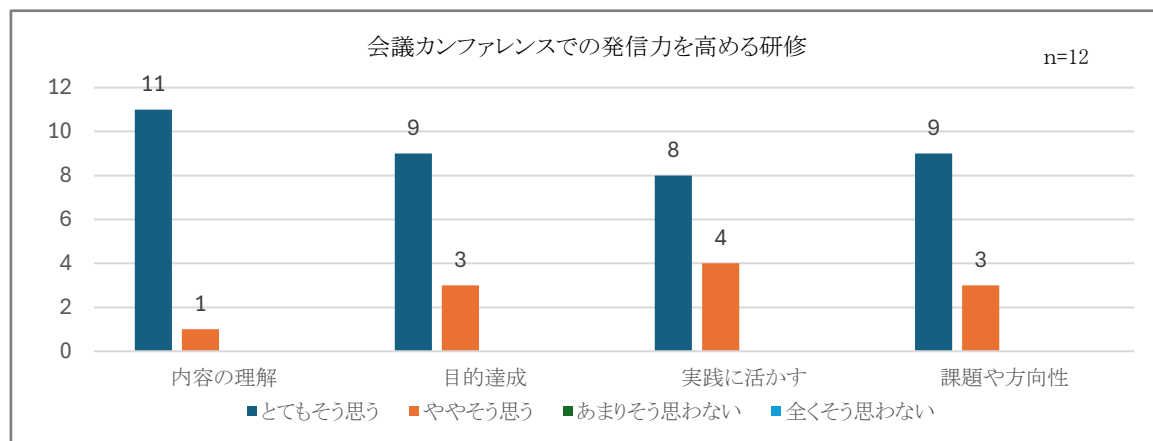
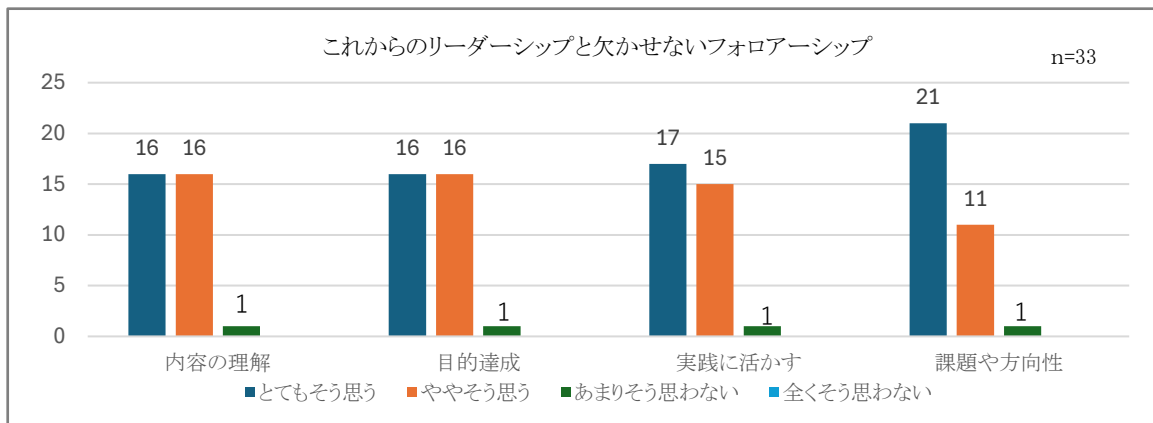
(5)病床数

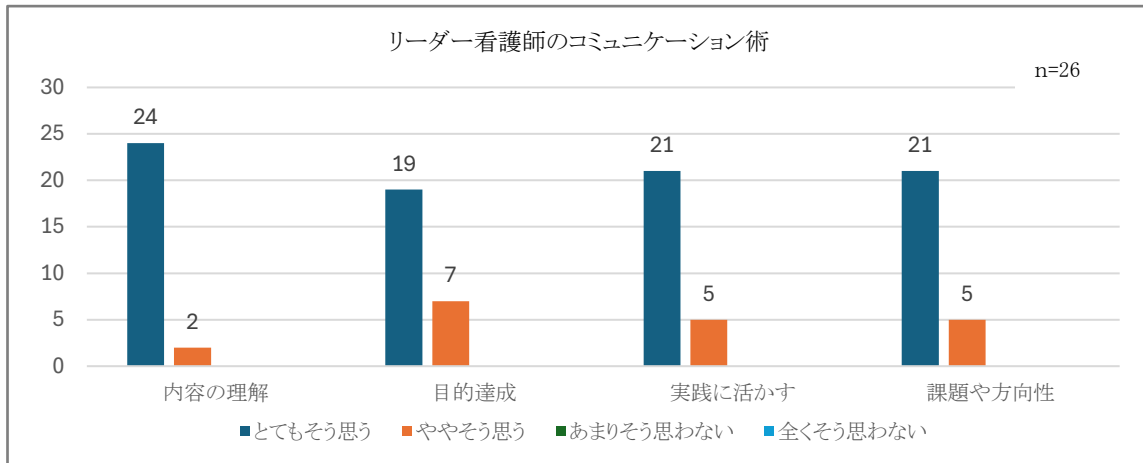
n=192



(6)研修別内容評価 指標 4段階(4:とてもそう思う 3:そう思う 2あまりそう思わない 1全くそう思わない)

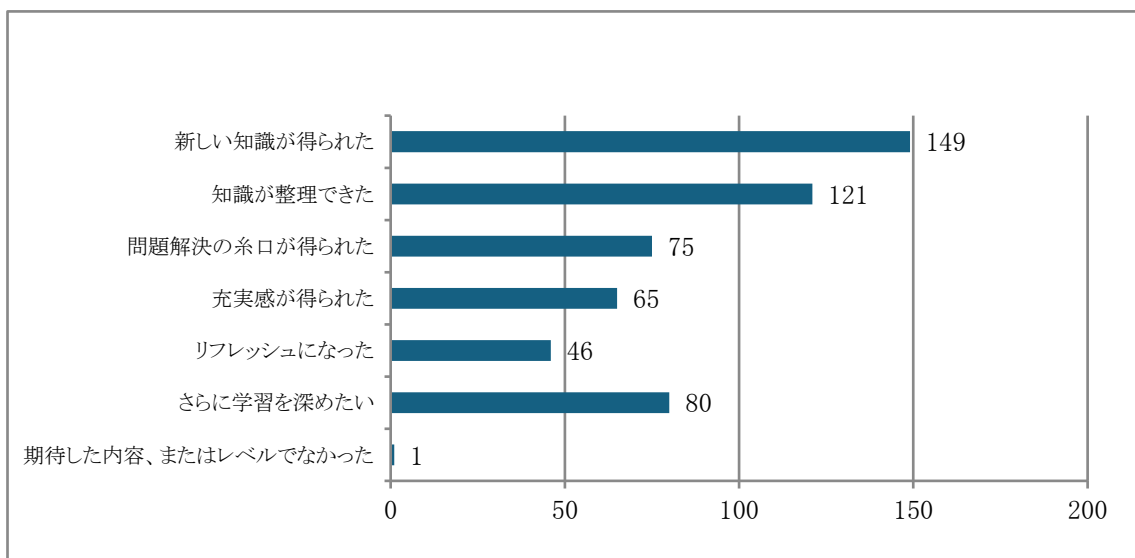






(9) 研修全体に対する感想(複数回答)

n=192



3. 研修担当者コメント

看護職として活躍するために必要な社会人に求められる能力、看護職に求められる能力、組織で求められる能力、看護実践能力を「3つの能力」として位置づけ、各組織の中核を担う中堅看護職の実践能力の強化、向上をねらいとし7つの研修を企画した。

オンライン研修が普及する中ではあるが、あえて開催方法を集合とし、演習・グループワークを通し、受講者の参加型また学びの定着ができるよう企画した。

参加型の研修で有意義であったやグループワークにより多施設の方と情報交換でき、参考になったとの意見も聞かれた。今後もニーズに沿った研修を企画していきたい。